

a journal



NAGOYAKINEMA
NEU
ナゴヤキネマ・
ノイ

12 2025
月号

〒464-0850

名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467
<https://nk-neu.com>

12月の定休日
火曜日(不定)
12/2・9・16・
23・31・1/1

毎月発行

RESERVATION

■ 各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

■ 現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付(座席指定)をご利用ください。

PLATFORM



公式サイト

公式 Facebook

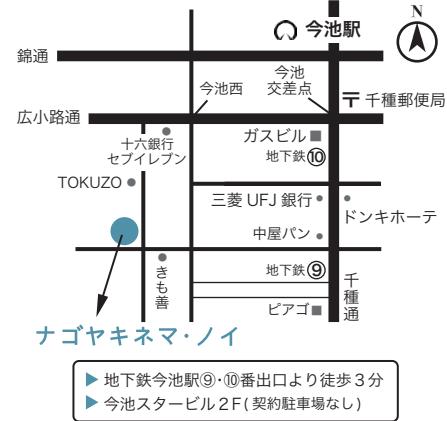
公式 X

公式 Instagram

@nkn_2024

上映スケジュール表は 2 面をご覧ください

ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩 3 分

▶ 今池スタービル 2F(契約駐車場なし)

10.25(土)～12.30(火)

『女性の休日』
[アンコール]

※12/5(金)までは土・日・振替休限定期間 9:30 から上映。
監督: パメラ・ホーガン (2024年 71分)



11.29(土)～12.19(金)

『はだしのゲンはまだ怒っている』

監督: 辻山正徳 (2025年 90分)



12.6(土)～19(金)

パトリシオ・グスマン『最初の年』

《2作品/入替》

①最初の年 2K レストア版 (1972年 96分 / 初公開) ②チリの闘い 武器なき民の抵抗 2K レストア版 ※全3部 / 入替なし / 休憩2回

第1部 ブルジョワジーの叛乱 (1975年 101分)

第2部 クーデター (1976年 92分)

第3部 民衆の力 (1978年 83分)



12.13(土)～26(金)
ケン・ローチ『石炭の値打ち』

《2部/入替なし》

第一部 炭鉱の人々 (1977年 77分)

第二部 現実との直面 (1977年 91分)

※初公開。※途中休憩あり。



12.13(土)～26(金)
『石炭の値打ち』

《2部/入替なし》

第一部 炭鉱の人々 (1977年 77分)

第二部 現実との直面 (1977年 91分)

※初公開。※途中休憩あり。



12.20(土)～※12/31・1/1は休映。

『赤い風船 4K』『白い馬 4K』

映像詩人アルベール・ラモリスの知られざる世界

《4部/入替》

①赤い風船 4K (1956年 35分)

白い馬 4K (1953年 40分)

②小さなロバ、ビム 4K (1951年 55分 / 初公開)

③素晴らしい風船旅行 4K (1960年 84分)

④フィフィ 大空をゆく 4K (1965年 78分)



12.27(土)～※12/31・1/1は休映。
ロッセリーニ × ゴダール
[2つのゼロ年]

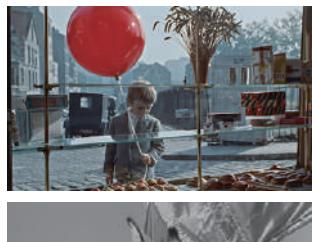
《2作品/入替》

①ドイツ零年

監督: ロベルト・ロッセリーニ
(1948年 78分)

②新ドイツ零年

監督: ジャン=リュック・ゴダール
(1991年 62分)



12.27(土)～※12/31・1/1は休映。
『ロードゲーム』

監督: リチャード・フランクリン
(1981年 101分 / 初公開)



2026年 1.2(金)～
『潜行一千里
ILHA FORMOSA』

監督: 富田克也
監督補: 相澤虎之助
(2025年 79分)

12月上映スケジュール表

12/2・9・16・23(火)は休館です。

※12/30(火)は開館いたします。

※12/31(水)・1/1(木)は休館です。

12/6(土)～12(金)

	12/6(土)	7(日)	8(月)	10(水)	11(木)	12(金)
11:00		『女性の休日』 11/22(土)～24(月・休)、29(土)・30(日)→午前9:30				
12:30		『はだしのゲンはまだ怒っている』				
14:20		パトリシオ・グスマン『最初の年』				
16:15		パトリシオ・グスマン『チリの闘い』全3部(入替なし・休憩2回)				

12/13(土)～19(金)

	12/13(土)	14(日)	15(月)	17(水)	18(木)	19(金)
11:00	『女性の休日』					
12:30	ケン・ローチ『石炭の値打ち』全2部(入替なし・休憩1回)					
15:50	パトリシオ・グスマン『最初の年』					
17:40	『見える』					
19:30	『はだしのゲンはまだ怒っている』					

12/20(土)～26(金)

	12/20(土)	21(日)	22(月)	24(水)	25(木)	26(金)
11:00	『女性の休日』					
12:30	アルベル・ラモリス①『赤い風船 4K』『白い馬 4K』					
14:00	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空			
15:40	ケン・ローチ『石炭の値打ち』全2部(入替なし・休憩1回)					
19:00	『見える』					

12/27(土)～12/30(火)

	12/27(土)	28(日)	29(月)	30(火)	31(水)	1/1(木)
11:00	2つのゼロ年『ドイツ零年』					
12:40	2つのゼロ年『新ドイツ零年』					
14:00	アルベル・ラモリス①『赤い風船 4K』『白い馬 4K』					
15:30	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空	②小さなロバ、ビム ③素晴らしい風船 ④フィフィ 大空			
17:10	『ロードゲーム』					
19:10	『女性の休日』					

ご入場料金・入替制

一般 1800円 大学生・会員 1400円 高校生以下 1000円 シニア(60歳以上) 1300円
障がい者・会員(シニア・学生) 1100円 ベア割(2名) 2800円

○会員サービスディ: 木曜日 会員・障がい者 1000円・会員 1名とのペア(2名) 2000円
○ファーストディ 一般 1200円 会員・障がい者 1000円

●『チリの闘い』、『石炭の値打ち』 一般 2000円。ペア(1名) 1600円。その他のかたは 1400円(均一)。

※料金は各作品の当日「通し券」です。各部を別の日に振替えることは出来ません。

会員募集

お申込日から1年有効で2000円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『女性の休日』アンコール

1975年10月24日、アイスランド女性の90%が仕事や家事を休み、女性の社会的役割を認知させた前代未聞のアクション「女性の休日」。50年後の今この国は女性首長が統治するジェンダーギャップ指数世界一位の平等先進国になった。超党派で全女性に呼びかけた行動と連帯を、参加者たちの魅力的なインタビューと記録映像、温かなアニメーションで綴る爽快で抜群に楽しいドキュメンタリー映画。この国で育った最強アーティスト、ビヨークが楽曲を提供。(71分)

『はだしのゲンはまだ怒っている』

不朽の反戦漫画「はだしのゲン」。6歳で原爆の惨禍を体験した中沢啓治が、憤りと怒りを込めて1973年に少年ジャンプで連載を始めた作品は時代と国境を超えて、今も衝撃を与え続けています。しかし、一方で過激な描写を閲覧制限の理由にしたり、広島市の教育教材から消えるなど、近年も議論を巻き起こしています。「ゲン」をめぐる現在を、数々のドキュメンタリーフィルムを手掛けってきた込山正徳監督が追います。(90分)

パトリシオ・グスマン 2K レストア版

『最初の年』『チリの闘い』2作品/入替

『最初の年』

1970年、南米チリで史上初の民主的選挙による社会主義政権が誕生した。政権を率いるサルバドール・アジェンデ大統領就任から1年、搾取されてきた労働者、土地を取り戻すために立ち上がった先住民、未来に胸を躍らせる若者たちの、1973年の軍事クーデターに先立つ希望に満ちた年を記録したグスマン監督の長編デビュー作。感銘を受けたクリス・マルケル(『ラ・ジュユ』)はフランス語版製作を支援したが、その後の政変でフィルム消失の危機を経て、2023年にジョナス・メカスが主宰メンバーだったNYのアンソロジー・フィルム・アーカイブ

ズによるレストア版が世界初公開された。(96分)

『チリの闘い 武器なき民の抵抗』

国民の希望を負ったアジェンデ政権に敵対する右派富裕層、軍部、合衆国CIAなどの政治圧力による暴力と分断によって民主政権が倒壊した史実を国会から、白昼の街路の戦闘から取材し続けた、ルポルタージュの金字塔的作品。カンヌ、ベルリン両映画祭でも上映され、今も民主主義を訴え続ける不滅の傑作だ。(276分)

ケン・ローチ『石炭の値打ち』

ケン・ローチ監督の幻の未公開作品、およそ半世紀の時を超えて日本劇場初公開。本作は1977年にBBCのドラマ枠「プレイ・フォー・トゥデイ」のために制作したテレビ映画で、英國社会の象徴でもあった炭鉱を舞台に、皇太子の視察訪問に右往左往する人々をコメディ調で描く第一部と、一転してハードでシリアスな第二部の二部構成で、炭鉱の人々の暮らしと人生がじっくりと描き出される。労働現場にコミットしようとする姿勢は、その後もケン・ローチ作品に一貫する特徴。脚本は傑作『ケス』と同じくバリー・ハインズが担当。(第一部77分 第二部91分)

『視える』

郊外の邸宅で女性ダニーが惨殺される未解決事件が起こり、犯人はその夫テッド(グウィリム・リー『ボヘミアン・ラプソディー』)が営む精神科病院の患者だと噂されていた。翌年、ダニーの双子の妹で骨董商ダーシー(キャロリン・ブライケン『コット、はじまりの夏』)が、姉の殺害現場を訪れる。彼女は盲目の靈能者だった……。正統ゴシック、ゴーレム伝説をスタイルッシュに描くアイルランド発の新鋭ホラー映画。(98分)

『赤い風船』『白い馬』

映像詩人アルベルール・モラリスの知られざる世界 4K 4プロ/入替

アンドレイ・タルコフスキイ、侯孝賢、ウェス・アンダーソンらに影響を与え、70年を経て今も世界中で愛される『赤い風船』。48歳で早世した映像詩人アルベルール・モラリスの傑作を4Kデジタル修復版の極上バージョンで公開。パリ20区アーティストが多く住むメニルモンタンに浮かぶ赤い風船と少年を描く『赤い風船』、南仏の神秘的な自然環境を背景に、少年と白馬の絆を描く『白い馬』の二本立(計75分)。東のとある国、こどもたちには必ず親友のロバが一頭いて、貧しいアプダラにも賢く頑固な親友ビムが居る……。エキゾチックな背景とロバの名演技。どのショットも逸品、初公開の傑作『小さなロバ、ビム』(55分)。北フランスからパリそしてブルターニュ、アルプスを越えニームへ。学者の祖父と孫の少年の冒険を描く『素晴らしい風船旅行』(84分)。『赤い風船』に続き息子バスカルが主人公。助監督はジャック・ドゥミ。警察から逃れてサーカスに逃げ込み、鳥人間の演目に入りこむ。スカウトされたフィフィは、団員ミミに恋をする。ユーモアあふれるロマンティックコメディとして、初公開時に日本でも大ヒットした『フィフィ 大空をゆく』(78分)。

ロッセリーニ×ゴダール [2つのゼロ年]

戦後80年を経て、大きな時代の転換点を迎えると感じられる昨今に、ぴったりの企画。第二次世界大戦後の廃墟と化したベルリンを舞台に、ひとりの少年を通して戦争がもたらす残酷さを描いたイタリアの巨匠ロベルト・ロッセリーニの『ドイツ零年』(78分)と、ベルリンの壁崩壊の翌1990年、東ドイツに潜伏していた老スパイの西側への帰郷の旅を描いたジャンニ・リュック・ゴダールの『新ドイツ零年』(62分)が邂逅します！

ネオ・レアリスモの流れを決定づけた傑作と、ゴダールの遺作にもたっぷりと引用された異色作をこの機会に是非！

『ロードゲーム』

オーストラリアの荒野を疾走する大型トラック。積荷は豚肉。明日にはバーコンになる運命だ。独り言だけが饒舌なドライバー、クイッド(スティシー・キー)は、不審な行動をとる緑色のバンの運転手が、ラジオのニュースが伝える連續殺人犯ではと疑い始める。相棒のディンゴは用心深く助手席に座り、ヒッチハイクで拾った女(ジェイミー・リー・カーチス)は怪しき気配を醸し出す。暴走する妄想が事件を現実化し、荒野の一本道はヒッチコック的な装置へと変貌する。(101分)

時代の扉をひらいた装い(ドレス)

愛知県犬山市にある博物館明治村は、今年で開村60周年を迎えた。初代館長の谷口吉郎が、金沢の第四高等学校の同窓生だった名古屋鉄道社長の土川元夫とともに明治時代の建築保存のための財団設立を構想したことが始まりだ。その設立趣意書には、明治時代を「日本が長い鎖国の夢から解放され、欧米文化を吸収して、一躍世界の先進国と比肩するにいたった時代であるとともに、数々の矛盾や二重構造を内蔵しつつも、急速に近代国家へと脱皮した、わが国の輝かしい隆盛期」として、貴重な資料の保存活用が謳われた。それから年月を経て、維持運営の課題も多いと察する。今やテーマパークとしての魅力も付加しつつ、博物館としての矜持を持った、国内外に誇るべき施設であり続いているのだ。

特別展「時代の扉をひらいた装い(ドレス)」では、日本の近代化を世界に印象づけるために、昭和天皇をはじめとする女性たちがドレスを纏った明治宮殿での儀式や行事を、衣装や家具などで紹介している(12月7日まで)。明治宮殿が太平洋戦争末期に焼失して80年。展示品の工芸的美しさを堪能するだけでなく、洋装化における政治的背景を考察するべき、意義深い企画である。

【トトち】

ナニやってんだか！(11)

AIやデータセンターは電気をたくさん使うから、原発は必要だねと、思っていませんか？

日本全体で急増しないのに、世纪の大サギのそのは、昨年6月21日の産経新聞の「AI普及で電力需要増大 必要性高まる原発」の記事です。この記事には2024年から2033年までの電力需要想定のグラフもあって、数値は大きく上昇しています。でもよく見ると横軸の電力量単位は0kWhから7500億kWhはカッコされていて、7500億kWhから始まって、全体的にみれば横ばいなのに、ちょっとした変動が大きさに描かれています。

その2は、資源エネルギー庁の「電力需要について」で2050年には電力需要が2021年比で20%増えると。でも、2050年ですから年率にすると、たったの0.6%です。

その3は経済産業省による電力需要見通しの棒グラフ。データセンター等による増加は、2030年までは10%増。だけど、データセンターなどを除いた電力需要量はこれまでの実績では年々減少しているのに、なぜか2024年8月の最大需要の数値が使われ、これが2030年まで続くって！

因みに北海道、NECの神奈川や神戸にあるデータセンターは100%再生可能エネルギー、京セラやソフトバンクも原発ではなく、やっぱり再生可能エネルギーです。くれぐれも、まだまざれないようにならぬね！※国際環境NGO FOE Japan「データセンターで電力需要急増」本当か？必見です。

【しょう】

ぱッと、みて、ポン！

劇団ジャブジャブサークットから公演案内が郵便で届いた。最近、手紙の公演案内は少ない。そもそも郵便利用が年々減少しているようだ。その指標の一つとなる年賀状は、2003年の44億5936万枚の印刷がピークで、昨年は10億7千万枚で四分の一以下になった。筆者は栄で飲食店を経営していたが、それはピークに至る時期で、確かに500通くらい四季折々に出していた。当時のハガキは50円くらい(封書は80円)。両者とも消費税などで変動あり)だったので、年間10万円程度の経費となるわけだが、月々1万円の宣伝費と考えるならば安かったように思う。最近はSNSなどで情報を拡散しているところが多いが、郵便にせよ電子メールにせよ、個人名義に公演案内が届くと筆者は関心を寄せやすい。さて、冒頭の劇団ジャブジャブサークットだが、今回でツアーパンは最後になるようだ。残念ながら名古屋公演はなく三重県津市が最も近い公演会場となる(その後は東京、大阪を回る)。1985年に劇団NO-SIDEとして始まり1989年に改名し現在に至った同劇団(HP調べ)。その間、主宰のはせ氏は岸田戯曲賞に3回ノミネートされる。最初の頃は夢の遊民社や第三舞台の影響か動き回る劇団という印象だったが、その後は対話劇が主流になっていく。そこには平田オリザ氏の口語演劇の影響があったのかもしれない(もつとも、その潮流は既に別役実氏、竹内統一郎氏、北村想氏らによって作られていたと筆者は思っている)。創立40周年記念の三重公演は12月6日、7日に三重県文化会館小ホールで行われる。

(P)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

自民党の衆参過半数割れを受け、多数派工作が長々と繰り広げられた結果、高市(右派)政権が発足した。

これまでの右翼的主張を抑え、経済政策に注力すると声高に発言しているが、裏金問題解明や選択的夫婦別姓などのジェンダー平等政策は、大きく後退することは間違いない。

結局、「何も変わらない」という諦めの思いにかられる向きも多いだろう。

こうした見方を変えてくれそうながら、7月に刊行された「なぜ社会は変わるのか」(講談社現代新書)である。著者の富永京子氏は、これまでにも「社会運動のサブカルチャー化」を始めとする著作で、デモやストライキだけでなく、日常的な個人的活動まで社会運動の範疇に含め、考察してきている社会学者である。

同書では、ここ40年にわたって発展してきた社会運動論の重要な理論である集合行動論・資源動員論・政治過程論などを紹介し、今日までの到達点を明らかにした上で、自らも立脚する「文化論と社会運動論」の視点から、「社会を変えていく」さまざまな事例をあげて、変化の実態を綴っている。ただ、取り上げている多くがリベラルなものであり、左右を問わず全体像が提示されているわけではない。とは言え、従来の社会運動に対する固定観念を突き崩し、その豊かな可能性を感じさせてくれる書である。

いなかのじけん

竹の花

60年に一度花が咲いて、竹は全部枯れるという。凶兆のしとされるが定かではない。

竹に花が咲いた。始まりは近所のA山さんちの真竹(マダケ)だった。A山さんは中京競馬のジョッキーで、勝手に持つてつていいよ、とのことだったので使い勝手もいいし、ずっとお世話になつた。気が付いたら、その竹林が枯れていた。これがそれか、花が咲くつてやつかと思った。5年前の事だった。

今年、家の前の山の淡竹(ハチク)に花が咲いた。稲のような麦の花のような花だった。花が咲いたら種ができる。米に米粒、麦に麦粒、竹には竹粒だろうと割ってみるが、何もない。どういうこと。竹は枯れた。

道のこちら側も竹林で孟宗竹(モウソウチク)である。種類も違うし、当然地下茎もつながっていない。大丈夫だろうと高を括っていたら、こちらも花が咲き始めた。淡竹は40年前から、孟宗竹はおそらく80年以上前からあったと思われる。これが同じ年に花が咲いた。

遺伝子的に花の咲く時間長が決まっているとして、これがもし緩やかに決まっているとしたら、例えば40年位とか80年位とか、だとしたら、これはあり得る。もしこれが厳密に決まっているとしたら、例えば41年竹と83年竹だとしたら、同じ年に花が咲くのは3403年に一度ということになる。これはかなり疑わしい。凶兆、竹が枯れ、タケノコが採れなくなる。確かにこれは悪しきことである。



ナゴヤ キネマ・ ノイ

NAGOYA
KINEMA
NEU
協力店

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
[院内処方 / 保険診療]
診療時間
午前 10時～13時・午後 15時～20時
毎週火曜・日曜・祝日休診
地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分
052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR
パリエテ
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに
名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分
不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC
TokuZu は
朝までやってる
呑み屋である。
052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
キネマ・ノイより北、広小路通りに
抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと
Restaurant Bar
052-753-4300
年中無休 pm6:00～am1:00
キネマ・ノイより東、環状線に
抜けた角、中屋バン地下 1F

JAZZ
MATILDA
DRINK & FOOD
NAGOYA KINEMA NEU
JAZZ MATILDA (グラントビル5F)
丸栄 ブリーカー かに本家
スズキ ブリッセス 三蔵油
スズキ ガーデンホテル 白川通
●気軽に入れる小さなお店です
●お一人様歓迎。 ●日・月曜定休 ●料金¥500
●オーダー¥300～ ●営業時間19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目5番22号グラントビル5F
052-263-6272

パンクをしたら
DAISY
052-228-0977
急ぎの荷物も当日お届け!
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIETE
WEB: http://variете.hp4u.jp
ヘアサロン バリエテ
営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00
定休日 月曜・第3月曜連休
千種区池下1-6-20 751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「ドリーベール」のあるビル

bookshop & gallery
ON READING
www.onreading.jp
on_reading
地下鉄東山公園駅2番出口より徒歩1分
を感じる、考えるひとのための本屋

からだほぐしと足つぼ
まつたま
みかげさまで18周年
本山駅6番出口すぐ
10:00-20:00 火曜・第1・3水曜定休
052-781-8239

アリヤト
髪切って、凛とする。
〒464-0074
千種区千種2-18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房
ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩5分。古本屋です。
名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00-18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
南丸
ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00/火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品
こもれび
鑑定・買取
昭和区桜山
052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル
地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農業・化学肥料ゼロ栽培
まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200
暮らしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン
食堂
●営業日 / 木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鮮の木31-2 0508043013102
鍵交「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂
鍼灸療院
地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30(最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制) kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室
無料体験しませんか
きよもじ みやひら
清元美哉廣
090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

星屑珈琲
群れない魂の止まり木
静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVERDOCK
安西コブンドー
19時～27時
不定休

村社祐太朗の会話劇『とりで』
二人の演出家による連続上演
作/村社 祐太朗
演出/澄井 葵
羽鳥 嘉郎
2025年
12/19(金)
20(土)
21(日) 14:00開演
(C)とりやまゆり

第22回AAF 戯曲賞受賞記念公演
(C)HATORI Naoshi
(C)HATORI Naoshi
お問い合わせ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。
http://mokumoku.asia
名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611

ROSSELLINI
SUR L'HISTOIRE DU CINÉMA
GODARD
GERMANIA ANNO ZERO
ドイツ零年
ALLEMAGNE ANNÉE 90
NEUF ZÉRO
新ドイツ零年
12/27 [土] から公開
ナゴヤキネマ・ノイ
NAGOYAKINEMA NEU

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集
平野勇治 著 安住基子 発行
小さな映画館から
1650円(税込)
ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々
鈴木 創 著
2200円(税込)
亜紀書房/発行
12月9日発売 各書店にて

Free Palestine!
私たちにできること
QRコード